

2022年3月10日

～毎月10日は人権を考える日～

『人間を尊敬する』水平社宣言から100年

今年は、1922年3月3日に全国水平社の創立大会が行われてからちょうど100年を迎えました。その創立大会で綱領と水平社宣言が高らかに読み上げられました。

「此際(このさい)吾等(われら)の中(うち)より人間(にんげん)を尊敬(そんけい)する事(こと)によって自(みづか)ら解放(かいほう)せんとする者(もの)の集團運動(しゅうだんうんどう)を起(おこ)せるは、寧(むし)ろ必然(ひつぜん)である。(原文のまま)」

これは、水平社宣言の一部分ですが、人間は尊敬すべきものであり、尊敬する事によって、自らの優越感や劣等感、嫉みや妬みを無くしていこうという決意と考えられます。

人間はとかく、他の人を見て優越感を持ったり劣等感を持ったりしがちです。優越感を持つことで安心したり、劣等感を持つことで自分を卑下してしまったりすることがあります。そういった気持ちが外へ現れ、「人を馬鹿にする」「人を差別する」といったことにつながるのです。人を羨んだり嫉んだりしても自分の生活は変わりません。

人は、自分と違った価値観や多様性をもっています。間違いはしっかり正していかなばなりません。しかし、あれこれ人のすることや言うことに優劣をつけたりすることは慎むべきではないでしょうか。

私たちの生活を豊かにするためには、水平社宣言に謳われているように、互いに尊敬しあうことが必要ではないでしょうか。

よく子どもに次のように言うことがあると思います。

「悪口を言わないで、いいところ見つけていこう。」

これはまさしく「人を尊敬する」ことの実践のように思います。

一人一人がどのように行動すればよいのか考え実践していくことで、差別を生み出さない社会をつくっていくことができるものと考えます。